

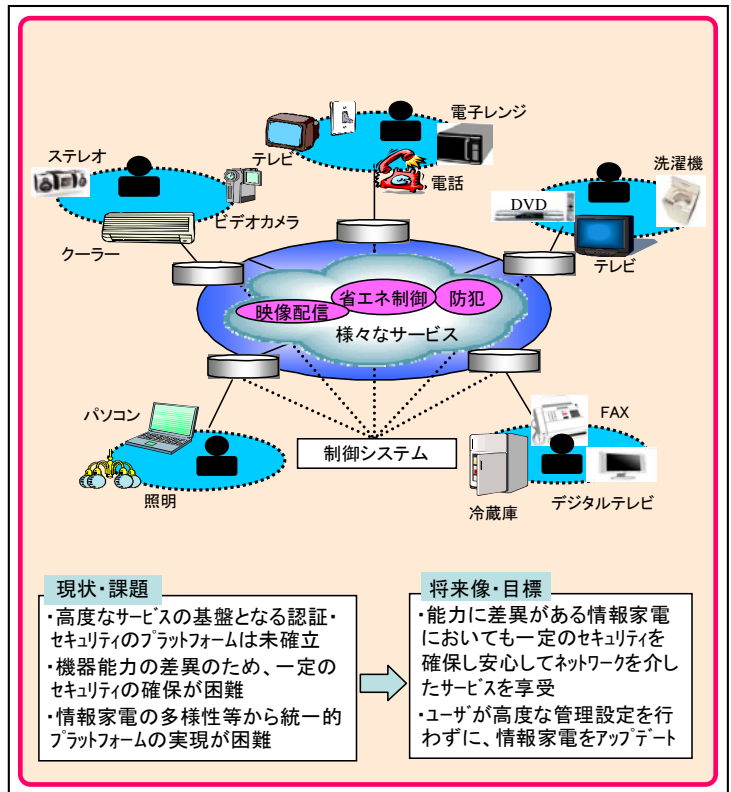
施策名： 情報家電の高度利活用技術の研究開発 【総務省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成20年度対象予算： 217百万円
 (平成19年度対象予算： 259百万円)
 実施期間： 平成18～20年度
 (予算総額： 1,375百万円)

○家電のデジタル化やネットワークのブロードバンド化の進展により、今後多様な利用が期待される情報家電について、安心安全に高度なサービスが利用できるよう必要に資するため、以下の技術の研究開発を行う。

- ① 自動認証型マルチデバイス管理・連携・最適化技術
- ② スケーラブル対応型ソフトウェア制御技術



施策名： 自律移動支援プロジェクトの推進 【国土交通省】

連携施策群(ユビキタスネットワーク)施策

平成20年度対象予算： 526百万円
 (平成19年度対象予算： 701百万円)

○ICタグなどの情報基盤を整備することにより、身体的状況、年齢、言語等を問わず、「いつでも、どこでも、だれでも」移動等に必要な情報を携帯端末で入手することを可能にする自律移動支援システムを構築する。

平成20年度は官と民とが連携して自律移動支援システムの定常的サービス提供に向けた実証実験を実施し、定常的サービスの開始を目指す。



戦略重点科学技術(9)

世界と感動を共有する コンテンツ創造及び 情報活用技術

戦略重点科学技術(9) 世界と感動を共有するコンテンツ創造 及び 情報活用技術

施策名： 自動音声翻訳技術の研究開発 【総務省】

社会還元加速プロジェクト(音声翻訳)施策

平成20年度対象予算： 697百万円
(平成20年度新規)
実施期間： 平成20～24年度

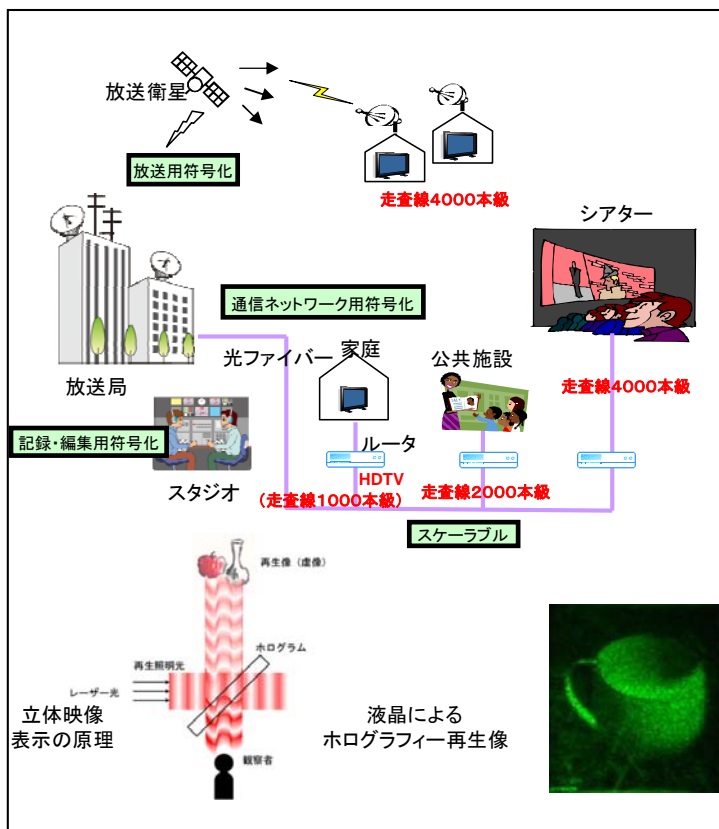
○社会の国際化が進展する中で、言葉の壁を越えた自由なコミュニケーション環境の実現と相互理解の促進が求められている。このため、基本的な旅行会話レベルに限定されている現在の翻訳性能を向上させ、幅広い会話の内容について、正確でより自然な音声翻訳を可能とする基本技術を確立し、言葉の壁を越えた自由で円滑なユニバーサル・コミュニケーション環境の実現を図る。



施策名: 超高臨場感映像システムの研究開発【総務省】

平成20年度対象予算: 456百万円
 (平成20年度新規)
 実施期間: 平成20~23年度
 (予算総額: 2,000百万円)

○次世代の放送として期待される超高精細映像放送方式を実現するために必要な符号化方式等の技術を開発するとともに、超高精細映像技術を基に将来の映像技術として期待される立体映像技術の要素技術を確立する。



施策名: 電気通信サービスにおける情報信憑性検証技術等に関する研究開発【総務省】

連携施策群(情報の巨大集積化)施策

平成20年度対象予算: 307百万円
 (平成19年度対象予算: 297百万円)
 実施期間: 平成19~22年度
 (予算総額: 1,600百万円)

○ネットワーク上の文字、音声、映像情報について、偽りの情報、信頼性の低い情報等を分析する技術を確立し、信頼できる情報を提供することで、誰でもが思いのまま、簡単に、信頼して、コンテンツを取扱い、高度に利活用できる環境を実現する。

